

令和5年度第2回 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会会議録

日 時 令和5年9月14日（木） 13:27～15:31

場 所 防災会議室

委 員 塚本 宮田 福島 浅田 日下 杉浦 奥坂 二宮 長谷川 谷口 野村 高橋 近藤

事務局 加藤雄 岩見 杉山 石原 安藤 加藤良 細山 山中 野々山 阿原 羽田野 磯村
榊原 喜田
(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 植村

意見・質疑等

1 開会

2 会長あいさつ

会 長 9月も中旬に差しかかり、朝晩の寒暖の差が非常に激しく、体調を崩しやすい時期になってきた。ご自愛いただきたい。
本日の議題に関しては、「第9期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画骨子案について」とある。皆様にはご意見をいただき、検討を進め、より良いものにしていきたいと思う。

3 議題

(1) 第9期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画骨子案について（資料1）

【説明】 事務局

【質疑応答】

会 長 骨子案なので、枠組みとなる。次回に中身についての説明がなされ、保険料検討等へとつながっていく。

委 員 重点項目である「多様な人材の確保・育成の支援」について、これまで育成した方がどれだけ就労しているのか。また、これは感想であるが、重点項目の「ICTやロボットの活用・業務効率化の推進」について、便利になったと思う反面、50代60代については操作が難しく、辞めていく方が多数いる。

事務局 刈谷市として、人材確保に向けて『介護に関する入門的研修の開催』、『介護職員初任者研修費補助』、『主任介護支援専門員研修費補助』の3つの事業を展開している。

令和4年度は、それぞれ、出席20名、10件、9件の実績がある。研修費の補助については、市内での就労を約束していただいております、申請者はすべて就労されているものと考えている。

ＩＣＴ化については、介護人材の確保に向けて今後普及していくと考えており、できる限り幅広い年代で利用できるようなシステムやロボットを導入していく必要がある。国や県の動向を踏まえ、支援策を検討していく。

会 長 介護職の就労者が少ないため、入門的研修などを通じて介護職に興味を持つきっかけとなればよい。

委 員 以前訪問した施設では、若い方が多いため、同施設内に託児所を設置していた。そういった支援が人材確保につながると思う。

事務局 環境整備が人材確保につながる。施設整備等の推進につなげていくため、そういった参考となる事業所の事例が展開できるような、情報発信の場を検討していく。

会 長 施設によっては夜間勤務もあり、保育園等との調整が難しくなる。その点、施設内に託児所があると、より働きやすい環境になる。

委 員 事業所のＩＣＴ化にかかわらず、在宅高齢者についてのＩＣＴ化も検討するべき。

事務局 在宅での生活を希望する高齢者が増えている。重点項目としては掲載されていないが、別施策の取組の中に含まれており、今後もさらに検討していく。

会 長 全国的には、お薬ロボットが普及してきている。そういったＩＣＴ化の導入支援も考えていくとよい。

委 員 重点項目に、「地域ケア会議の充実」とあるが、地域ケア会議とはどのようなことを目的としているのか。また、充実とは具体的にどのように進めていくのか？

事務局 各地域包括支援センターにおける支援ケースについて、共有する場となる。充実については、これまでの共有にとどまらず、多様な職種の視点から支援策を検討し、視野を広げていくことを想定している。

委 員 重点項目に「チームオレンジの立ち上げと取組」とあるが、チームオレンジとは何か。

事務局 「認知症サポーター養成講座」、「認知症サポーターステップアップ講座」の受講を終えた地域のボランティアが中心となり、認知症の方と支援者を繋ぐ仕組みのことである。認知症の方を支える、多様な事業を検討していく。

（２）令和４年度介護保険・高齢者福祉関係事業の決算について（資料２）

【説明】 事務局

【質疑応答】

会 長 一般会計の歳出において、高齢者福祉費が増加していることについて説明をお願いしたい。

事務局 １億３００万円ほど増加している。これは、介護給付費が増加したことに伴い、法定割合に応じた市の負担分が増加したものである。

会 長 給付費が増えると、市の税金が投資されることになる。介護保険のサービスが増加すると使う税金も増えることを理解しておいてほしい。

（３）高齢者福祉サービスの利用状況について（資料３）

【説明】 事務局

【質疑応答】

委 員 布団乾燥等事業について、実際利用してとても助かったことがあるが、利用者が減っている理由は何か。

事務局 特にアンケート等を行ったことはなく、理由までは把握しきれていない。引き続き周知していく。

会 長 介護タクシー等の利用が増加しているが、理由は何か。

事務局 高齢者の増加も要因であるが、利用制限の緩和が増加につながったと思う。

委 員 「家族介護慰労金」の中で、“重度要介護者”と記載があるが、重度とはどの程度か。また、支給対象が極端に少ないのはどういった理由か。

事務局 “重度要介護者”は要介護4以上を想定している。支給が少ない理由としては、住民税非課税世帯のうち、要介護4以上であり、1年間介護保険を利用していない方が対象となるため、支給条件が稀なことから対象者が少ないと思われる。

委 員 過去に問題となったと思うが、慰労金の制度は介護保険の趣旨から反している。また、外部との接触機会が少なくなるため、ネグレクトになる危険性がある。

会 長 慰労金は訪問により支給するなど、工夫が必要である。

（４）介護保険関係施設の整備について（資料４）

【説明】 事務局

【質疑応答】

委 員 看護小規模多機能型居宅介護は今後の在宅介護において要となる事業所であるため、サポートをしていただき、ぜひ開設してほしい。

事務局 開設に向けて障害になるようなことがあれば、できる限り取り除けるように支援していく。

委 員 看護小規模多機能型居宅介護と類似サービスである小規模多機能を過去利用したが、在宅介護においてはとても必要な施設である。そういった施設が増えていかない理由は何か。

事務局 他自治体において、看護小規模多機能型居宅介護を運営している事業所にアンケートを行った結果、経営面における採算の問題もあるが、人材確保が難しい旨の回答であった。また、土地の確保が難しいとの回答であった。

（５）介護保険サービス事業所の指定等について（資料５）

【説明】 事務局

【質疑応答】

特になし。

（６）地域包括支援センターについて（資料６－１、資料６－２）

【説明】 事務局

【質疑応答】

会 長 半日など、短時間にリハビリを利用する人が増えている。新規事業所として、リハビリ特化型デイサービスほっとパークが開設されたが、今後は開設する地域とセットで検討する必要がある。

4 その他

事務局 介護保険料について、過去5年の第1号被保険者1人あたり保険給付月額、第1号保険料月額、必要保険料月額について説明。

【質疑応答】

特になし。

事務局 次回の開催について、令和5年11月7日（火）午後1時30分からとさせていただく。また詳細は改めて通知する。

5 閉会

会 長 本日の議題については、これですべて終了した。たくさんの意見に感謝する。今後も意見をお願いしたい。これにて令和5年度第2回の刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会を閉会とする。